

会 議 録

第9回定例会

開会 令和4年8月2日

教育委員会会議録

1 開 会 令和4年8月2日 午前10時

2 閉 会 令和4年8月2日 午前11時25分

3 教育委員会出席者

教育長	榎 浩一
委員	菊池 健次
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	臼杵 一浩
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 職 員 課 長	真相 秀也
学 校 教 育 課 長	今田 潤
教 育 政 策 課 長	小原 広行
教 育 政 策 課 副 課 長	山星 茂

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 報告事項1を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項2 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について》

教育長 報告を求める。

学校教育課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

三木委員：中学3年生が6年生と比べて伸びているのは、これまでの取組を大きく変えたのか。

学校教育課長：小・中学校で結果が大きく違ったことについては、今後、詳細を分析していきたい。なお、小・中学校ともに学力向上実行プランを作成し、指導・助言を行っている。良い取組を個別に聞き取って、検証したい。

菊池委員：学力調査を目指して、各学校では何か取り組んでいるのか。

学校教育課長：各学校での授業を基本とし、子供たちの力をつけさせている。定点的な測定としては、ステップアップテストを実施している。

菊池委員：全国的な推移として弱くなっているところはあるか。

学校教育課長：今年は、経年変化を調査する年ではないので、国は示していないが、思考・判断・表現に課題があることは、全国的な傾向である。

島委員：タブレット端末を使用すると、学習したことがログとして残る。タブレット端末の活用と学力の相関関係はどうなっているのか。タブレット端末は更新

していかなければならないが、そういったことを調べていくことで、更新の必要性が証明され、結果的に予算もつく。学力が上がったこととICT端末の活用との相関関係を明らかにしていくのがいいのではないか。

学校教育課長：学習ログについて、学力との相関を分析するだけのデータは現状取っていない。今後、全国学力・学習状況調査もCBTへと変わっていくので、そうした動向を注視したい。また、今回の学力調査では、ICT活用と学力との相関関係は、国は示していない。使用頻度だけではなく、いかに効果的な使い方をすることが大切だと考えており、今後、効果的な活用事例を発信していく。

岡本委員：中学校で上がっているのは良かった。小学校に勤めた経験から、なぜ小学校が低いのかを考えてみると、このようなテストの形式に慣れていないことがあると思う。徳島県では、中学受験する子供が少なく、様々な種類の問題を解くことが少ない。ただ、個々の課題を見つけて、自ら考えていく力はつけていかなければならないため、そのための授業改善は必要であるとする。また、ICT環境については、進んでいる所もあれば、整っていない所もあり、30人規模のクラスで一斉にネットを利用すると、スムーズに動かない場合もあるので、ICT環境の整備も重要である。

学校教育課長：ICTを授業の中でどう効果的に使えばいいのかということについては、GIGAスクール推進本部で好事例を収集し、各学校に伝えていきたい。

三木委員：小学6年と中学3年の人数を比較すると、中学3年の人数が減っているのはなぜか。

学校教育課長：この数字は、公立のみの人数になる。国立や私立の生徒の人数は含まれていない。

島委員：例えば、小学校で今回の形式のような問題を事前に練習にしていれば順位が上がっていたのではないか。

学校教育課長：日頃の授業の成果が学力調査に表れてくると考えている。今回の問題の中にも、資料から自分の考えを書き、そして、友達の見意を取り入れてさらにまとめるという問題があったが、そのような場面を授業の中で作り出して、経験していけるよう、指導する工夫を各学校へ伝えることから始めたい。

岡本委員：県教委で、活用問題のプリントを用意してくれているが、学力調査が実施されるまでには、なかなか取り組む余裕がない。また、5年生の内容は盛りだくさんで、5年生の終わりにもなかなかできないと思う。経験として、6年生になった4月は、落ち着いた学習環境をつくることに精一杯で、学

力調査などに向けた取組は難しいと感じる。

《協議事項1 令和5年度徳島県公立小・中学校再任用教職員（校長，副校長，教頭）選考審査要綱について》

教育長 説明を求める。
教職員課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

岡本委員：管理職は，その学校の教職員を知り，地域を知り，地域の人とつながり，円滑な学校経営を行っていくという大きな役割を担っている。再任用管理職として1年ごとの任用では，学校経営が困難ではないのか。また，教職員にとっても，管理職が1年で異動になるというのは，よりよい教育活動を実施する上で，難しい面もあるかと思う。再任用管理職の配置に当たっては，できるだけ知っている地域，慣れた学校とすべきであると考えている。

教職員課長：再任用の制度として任用期間が1年となっており，管理職がリーダーシップを発揮するには時間が短いのではないかとのご意見もあるかと思うが，現行ではそのような制度となっている。配置先等については，ご意見等を踏まえながら検討していきたい。

河野委員：地域の方々の立場からも，管理職が1年だけの任用期間となるとやりにくいところがあると思う。数年の配置が望ましいと思うが，制度上任用期間は1年であるということであれば，そうした制度等について丁寧に説明していくことで，地域の方々の安心感も増すと考える。

教職員課長：管理職が力を発揮しやすい環境は，子供たちへの良い教育環境にもつながるということを十分に考え，今後検討していきたい。

教育長 協議事項1を議案第19号として付議してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第19号を原案どおり決定してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第19号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《報告事項1 令和5年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査第1次審査について》

《協議事項2 職員の処分について》（追加）

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前11時25分